広報
まつだい
1988／8月
第345号
■発行　新潟県松代町役場総務課　電話　松代7－2220番　昭和63年8月5日

《人口の動き》
7月末現在

男2,756(－3)　女2,788(－7)　計5,544(－10)　世帯数1,593(－4)
出生7　死亡4　転入6　転出19

国際化社会へスタート

～日本の松代へ～

七月三日 下山にチベットハウスがオープン

チベットハウス開所のテープカットを終えペマ氏と町長が握手

七月二日、ペマ・ギャルポチベット文化研究所長夫妻と、貞兼綾子東京外語大教授、酒井信彦東大助教授、小林秀英・柳沢須佐男日本サムエ寺建設実行委員、橋本、ラクパ所員ら一行八人が松代町を訪れました。

一行の目的は、売買契約を済ませた旧下山分校の建物と敷地の確認と、町側が日本サムエ寺建設を希望し推せんする三ヶ所（下山・太平・室野地内）の視察と翌三日に行うチベットハウスの開所式式典に出席するためです。

旧分校に着くと建物の裏手から眼下に流れる越道川の風景に感激した様子。中でもペマ夫人は生まれ育った地に似ているとのことで大喜び。

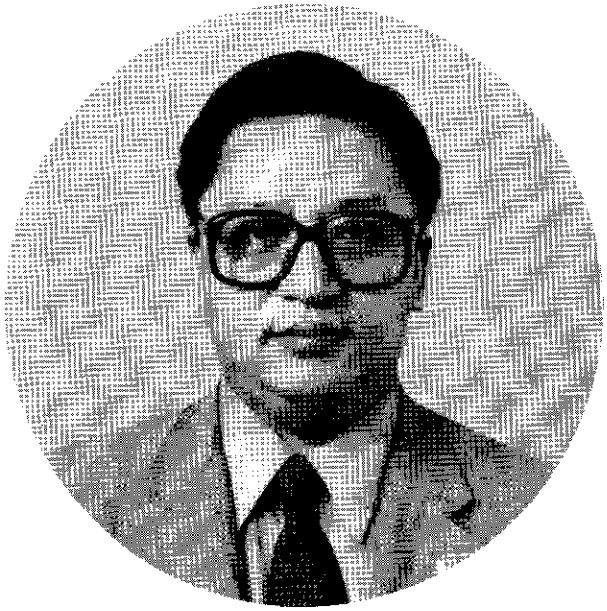
三日の開所式での記者会見の際にペマ氏は「自然が美しく、人も心の温かい人たちで大変気に入っている。当面この建物は、チベット文化の日本の資料室と会員の季節的な研修所として利用したい」と話され、また日本サムエ寺の松代建設については「建てるかどうかは会の条件もあるので、内部で相談し早急に結論を出したい」と寺院建設に前向きの発言をされました。

祝宴会では地元の婦人たちが手作りの料理で大歓迎。都会では食べられない山菜料理にこれまた皆さん大喜こび。

「チベットさん」「宮沢さん」と下山での会話が聞けるのも間近のようです。

チベットハウス開所にあたって

チベット文化研究所長
ペマ　ギャルポ



仏教で言うところの「縁」により、この度松代町から旧下山分校を譲渡していただき、新たにチベット文化研究会研修所「チベットハウス」として生まれ変わり、松代町及び下山地区の皆様と、新たなおつきあい・交流が始まった事は、我々にとりましても誠に喜ばしい事と存じます。

「チベット文化研究会」は日本におけるチベット文化の普及と研究・啓蒙を行ない、日本の方々にチベット文化に対する正しい認識を持っていただき、日本とチベットの文化的民間交流を図るという事を目的とした会です。

皆様はチベットというと、標高の高いヒマラヤの山々と遊牧民、そしてチベット仏教の僧侶や寺院というような事をご想像されると思われます。しかし、チベットというところはそれだけではなく、東西南北に大きく広がる、日本のおよそ六倍の面積を持つ広い国です。南の地方では田畑を耕す定住農業を営み自然も豊かで、ちょうどチベットハウスから周囲を眺めたのと同様の景色を見ることが出来、また、チベット人の顔つきも日本人とたいへんよく似ており、言葉も、文字こそ違いますが日本語とほぼ同じ語順で話しますし、数字の読み方など、そっくりの部分もあります。また、人々の考え方や生活習慣も、日本人と共通する部分も多く持っており、共に仏教に根ざした社会の中に生きています。ですから、日本人とチベット人は、他の国の人々以上に親近感を持っておつきあいいただけると思います。

チベットハウスは、チベット文化研究の資料館として、また研究会の文化活動の研修施設として活用してゆくと同時に、将来的にはチベット文化や伝統工芸といった面で、地元の皆様のお役に立てるような、地域に根づいた幅広い活動をしてゆきたいと考えております。私達は去る七月二日、三日と、チベットハウス開所式のため、松代町及び下山地区を訪れましたが、何よりも自然の美しさと、都会とは違った人々の温かみを強く感じさせられ、たいへんお世話になりました。また、その際、下山地区の皆様の厚いご期待に少しでも添うことが出来るよう、最大の努力をしなければならないという事を改めて強く感じました次第です。チベット文化研究会は企業ではありませんので、いろいろな計画等も、自分達の出来る事から一歩一歩進めて来ました。勿論チベットハウスについても同様の考えでおりますので、諸計画等の実現には時間がかかると思われますが、基礎のしっかりした計画をなるべく早期に行動に移し、着実に前進してゆくためには、地域の皆様の深いご理解とご協力は欠くことの出来ない大きな要素です。また、皆様にチベットについての関心と正しい認識を持っていただくためにはどうしたら良いかという事も現在検討中です。今後何度となく我々の関係者がこの地を訪れ、交流も少しずつ深まってゆく事と存じますが、もし見かけましたらぜひ「チベットさん！」と声をかけて下さい。

新しい住人となります我々ではありますが、今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。

感激される
助教授、ペマ所長）

近所の子供ともすぐ仲良しに
（貞兼東京外語大教授㈲とペマ夫人）

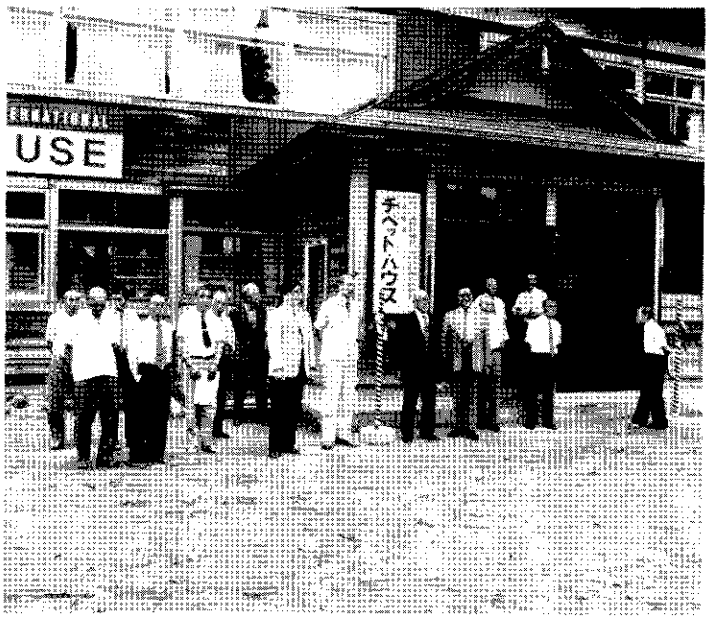
情報化社会の中で

情報化社会の中で、いかに質の良い情報を的確にキャッチし、利用するかがあらゆる面で必要となってきています。

松代町が情報化時代の波にうまく乗れるようになった大きな要因として、早稲田大学関係者との交流があげられます。

現在、早稲田大学の校外施設として、昨年五月蒲生にセミナーハウスが完成、併せて町内の有志で結成された早稲田協力会が管理する「早稲田クラブ」も宿泊施設として機能を充実し、同大学の校外授業、サークル・部活の合宿等に年間を通じ〝学生の訪ずれる町〟となったことは、他町村の羨望の的となっています。

その中で松代町の宿願である北越北線開通に合わせての駅舎の建築構想の研究に携わ



チベットハウス開所を喜ぶ関係者

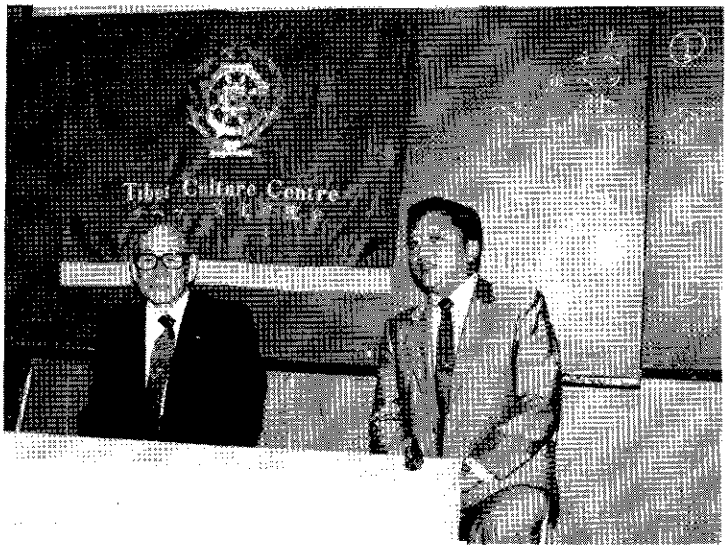
サムエ寺建立希望候補地で意見を交わす

旧下山分校裏の景色に
（小林チベット研理事、酒井東大

っていただいている、寺門千葉大助教授、鍵山アステル建築研究所長と藤巻幹雄早大協力会代表他関係者を通じ、チベット文化導入の話が現実化されることとなりました。

チベット文化研究会では、すでに千葉県市原市に寺院建立のための用地を取得し、準備を進めていましたが、市原市が都市化の影響を受け自然環境の面で再考していたところに、新たな活動拠点として社会環境の変化で廃校が決定していた下山分校が前者の方々により紹介されました。

〝地方の時代〟が言われる現代に首都の情報を入手し、活用することが町の活性化につながります。今回のチベット文化の導入が、日本の松代町として将来知れわたるかもしれません。



記者会見場で松代の印象を語るペマ氏

嫁さん

日本・フィリピン 国際結婚合同披露宴

明日に向って新たなスタート

七月二十五日、松代中学校体育館で、フィリピンからの花嫁十人を迎え合同結婚披露宴が行われました。

若井君男さん（蓬平）他九人の仲間「ラッキーナイン」主催で町が協力して開かれたこの披露宴には、バラアン前バギオ市長夫妻、このたびの結婚の仲介役を務められたマニラ会事務局長の島田栄さんと事務局の女性二名が来賓として招かれ、町側からは秋山町長、島田助役、関谷議会議長、関谷総務課長が出席しました。

紋付きはかま、振りそで姿に着飾った十組の新郎新婦は二六〇人の招待客が盛大な拍手で迎える中、「長持唄」をバックに神妙な面持ちで入場。

秋山町長は歓迎のことばの中で「言葉の不自由を抱えて新しい生活に入りますがその心労は大変なことと想像します。そんな新婦に温かい手を差しのべ、わが子同様に優しく教え導いて下さい」と新郎と家族、親類の方にお願いし、新夫を代表した若井さんは、「あせらずじっくりと一歩一歩前進し、幸わせな家庭を築き、十組全員が夫婦として理解しあえる日が一日も早く来るよう全員で力を合わせます」と決意を述べました。

祝宴では松月会の日本舞踊と犬伏の子供たちによる松苧太鼓が披露され、十組のカップルを盛大に祝福しました。

若井君男・エディタさん

秋山正行・ジーニーさん

高橋喜一・セシリアさん

中條栄一・エドウィーナさん

高橋元男・メルセデスさん

経過

結婚相談員制度の廃止

全国的な社会問題として、農村地域における後継者対策と結婚難があげられています。

町では昭和五十六年に結婚相談員制度を設け対応を進めてきたものの、喜こばしい成果を見ないまま行政改革の関連もあり六十一年でこの制度を廃止しました。

Welcome ようこそ 南国の花

山形県大蔵村を視察

六十二年四月、秋山町長は国際結婚に積極的な取組みで注目を集めていた山形県大蔵村を小林安塚町長と視察し、安塚町とともに国際結婚に踏み切ることを決意しました。

五月には町内の独身青年を対象に国際結婚の懇談会を開き、以後、毎月二回の会合を持ちながら情報の交換、意思の疎通を図り、十一月末を区切りとし希望者のとりまとめを行うことにしました。

安塚町では年内に順備を整え、十月に四人のフィリピンの花嫁を迎えることができました。

牧田信二・ルーデスさん

中沢昇平・ミネルバさん

柳浅夫・フェさん

十二名の青年が渡比

今年の三月十二日、町では「冬の陣」が行われている時に、マニラのジャフィール協会理事長の島田栄さんを招き最終的な話し合いを行いました。

この時、当初から意を固めた二名と後から仲間入りした八名を含め十名となり、安塚と浦川原からも一名ずつ仲間入りし、十二名がフィリピンに向うこととなりました。役場からは町長と職員二名が随行し、四月下旬不安を抱きながらも異国の地に到着。以後八日間の内に見合い、家庭訪問、婚約、日本大使館への届出と一連の手続きを済ませ帰国しました。

小堺隆至・マリテスさん

バギオ市長室での挙式

五月半ば、十二名の青年に助役、役場職員らが再度フィリピンに渡り、バギオ市長室で市長立会のもとに挙式を行い結婚が成立しました。式後の場所を変えての披露宴では、二五〇人を超す参会者に盛大な祝福を受け、喜びの十二組のカップルがここに誕生しました。

市川栄太郎・スーサンさん

町では今後の後継者対策の相談窓口として、産業課農業委員会が皆さんの相談をお聞きすることになります。

部落と家庭の和で20年

東山協業葉たばこ耕作組合

町の南方に位置する東山は標高で四五〇㍍と町内で一番高い所にあり、十日町市の鉢に通ずる峠の頂上からは十日町の街並みと遠くは越後三山、妙高山系も見渡せます。

六月三十日、東山協業葉たばこ耕作組合は町長と役場関係者、農協側から斉木参事と担当職員を招き、協業結成二十周年記念大会を集落センターで開きました。

同組合は、昭和四十三年に九戸の農家が一体となり部落総ぐるみでスタートしました。当初は、農業構造改善事業の指定を受け地域の産業振興と近代化を目指し養蚕を導入、以後、着々と蚕舎、管理棟等の施設を充実させ、五周年を迎えた四十八年には、繭価が史上最高値を記録し売上額も五五〇万円を超えるなど好調な成績を上げました。

しかし、翌四十九年は世界経済を揺るがしたオイルショックの風当りをまともに受け、売上も三〇〇万円を割る大幅な減益となり、収益を維持する困難さを味わいました。

五十一年、養蚕から葉たばこへの転換を決め、翌年から葉たばこ耕作組合として新たな試練へスタートすることとなりました。

現在では、二六三・三㌃の畑を七戸の組合員で作付けし、一千万円を超える売上げを六十一年から維持しています。

七世帯、二十七人という小部落ですが、部落入口にある墓地がいつもきれいに手入れされて訪ずれる人を感心させます。

「家内相互の和をモットーに、続けられる限り続ける」と葉たばこ生産に力強い意気込みを話してくれました。

協業結成20周年を部落全員で祝いました。

▶年間を通して部落入口の墓地に雑草が生えることはありません

第13回 親善バレーボール大会結果

去る、六月二十六日に総合体育館において第十三回親善バレーボール大会が開催されました。

結果は、次のとおりです。

一部リーグ　五チーム参加
二部リーグ　六チーム参加

（一部リーグ）
優　勝　消防チーム
準優勝　松代Aチーム
第三位　室野エイリアン

（二部リーグ）
優　勝　羽根の会チーム
準優勝　松代病院チーム
第三位　バレー教室チーム

◎特別賞（チームワーク賞）
清水スポーツ愛好会

松代町史編纂シリーズ㉜
第六編 民俗
第五節 松代町の民話について
松代町史編纂室 関谷哲郎

松代町の民話

執筆 津幡龍峰先生

津幡龍峰先生の民話原稿が監修、中村先生から合格サインで返ってまいりました。

楽しい内容で、皆さんから親しんでもらえること、うけあいです。以下、その一部を紹介します。

一、松代町の民話

松代町は民話の宝庫である。近年、この町へ民話の採集に訪れた大学の民俗学研究班、日本民話の会に所属される大学教授や学生諸君、あるいは地元の高校生や婦人会の人々が採集・集録した民話集が何冊か出版された。（中略）

かつて、**とうどよび**（鳥振舞）のあとや、**もらい湯**のあとの茶呑みのひととき、冬の囲炉裏を囲んでの団らん、**苧うみ**や針仕事、**石臼ひきやわら仕事**など、夜なべをしながらの昔語り、「おばば、むかしかたってくんねかい」とせがむ子どもの声が、テレビの普及や農村の都市化とともに聞かれなくなってから久しい。

口づたえに子から孫へと伝えられてきた民話。それは、祖先のねがいや夢の反映であり、明るくおおらかなユーモアと、健全な批判精神を宿した珠玉の口誦文学と云えるであろう。

(一) 猿むかし

昔あったと。あるとこに、お爺さんが山へ畑うない行ったと。そうして広い畑を一人で、かたん、かたんとうなっていたども難儀くてなんぎくてどうしょもねえ。

「はあ、なんぎい、なんぎい、ひとつ休んで……。」

そうして鍬の柄へ腰おろして休んで、

「はあ、けな難儀い畑うない、誰かうなってくれれば、おらあ、娘三人だすけ、どれか一人、嫁にくれるでもなあ。」

そう言って休んでいたと。

そうすると、どこで聞いてたか、猿の奴が一匹、ぴょん、ぴょん、ぴょん、ぴょんと、とんで出て来て、

「爺さ、お前、今、何言ったい？」

「さあて、こら、まあ、猿に聞かれてしまったかなあ。」

そう思ったども、うそ言うわけにもいかねえんだんが、

「おらあ、娘三人持ったども、すんなりこの畑うなってくれたら一人くれるがって、そう言ったこてえ。」

「へえ、ほいじゃ、おれがうなうすけ、おれにくんねかい。」

そういってしまったでみたら、やだとも言わんねえんだんが、

「うーん、まあ、うなってくれりゃ、くれるこてや。」

そうすると猿の奴は、ぱたこん、ぱたこんと、たった一刻のうちに、その畑をみんなうなってしまって、

「さあ爺さ、畑みんなうなったすけ、おれに嫁っこ一人くれるのお。」

「おお。」

そういって、まわ別れて帰って来た。

「明日、くれるかい。」

「ほしゃ、あしたやる。」

約束して帰ってきたども、さて、家へ来て子どもにどう言って話したらいいか、まあこら、困ったもんだと思って家へ来たら、どっか悪くなっちまった。そうして寝床で寝てたと。

そうすると娘が二人、かわりばんこに一番姉の方から、

「爺さ、じさ、お前今日はどうしたい。どっか悪やあねやかい。まんま食わねかい、どうしたがだい。」

「まんま、何んでもいらねでもそ、心配があってそ。」

「何、心配だい。」

「おらあ、山でもって猿と約束してしまったがで。あの畑が、あんまりうなうが難儀いんだんが、畑みんなうなってくれりゃ、娘一人くれる、そってしまったがね。山の猿んどこ嫁いってくれやれ。」

「何ばかいってらあとえ、お前は。山の猿んどこへなんて誰が行ぐ。」

そう言って姉娘は逃げちまったと。そうすると、二番目の娘が来て、

「爺さ、じさ、お前今日どうしたがい。どっか難儀やけら肩でも揉もうかい。腰でもさすろうかい。」

そういって入って来たと。そうすると爺さが、

「ううん、肩も揉まんもいいし、腰もさすらんでもいいでも、いい子だが、なあ、山の猿んどこへ嫁行ってくれらんねか。」

「馬鹿ばっか言ってんじゃねえってが、誰が山の猿んどこへなんか嫁に行ぐど。お前、ばかってんだかい。」

こう言って、また、二番目の娘も逃げちゃったと。今度は三番目。……。（残念ですが、紙面の関係で、ここまで）

松代町の野鳥

シリーズ⑱

クロツグミ

松永 洸

クロツグミは森の名歌手で、張りのある、キョロ、キョロ、キョロチー、キョロチーというさえずりは、山々の木々をふるわせて、こだましていく。クロツグミは、朝夕によくさえずり、佐々木信綱の歌に、

山空はいまだあかるし
　木がくりの
黒つぐみの声
　すみとほり聞ゆ

があり、クロツグミのさえずりをよく表現していると思います。

この鳥は、五月初めころ県内に渡ってくる夏鳥で、松代町には、多少おくれて五月中、下旬ころに渡ってくるのではないでしょうか。生活場所は主に、雑木林、落葉広葉樹林、植林地などに広く分布し、渡来するとすぐに樹梢でさえずりをはじめ、初めのころはひそかに小声で、陽気がよくなるにつれて高く朗らかな声でさえずります。さえずりは木の葉がくれにさえずることが多く、危険を感じると、キョッキョッキョッと鳴き、飛び立つ時、シーと鳴くといわれています。松代町で、この鳥の声を確実に聞くことのできる場所があります。その場所は、「チベット街道」と名付けられた、林道田沢下山線の越道川と接する付近です。

この場所では、林道上で対岸でさえずりを聞くことができます。しかしここのクロツグミは、こぶしをきかせているのか、少し節廻しがちがっている感じのするさえずりをしています。人によっては、日本の三鳴鳥（ウグイス、コマドリ、オオルリ）に次いで四番目に美声だという人もおります。また、歌の上手な人は人まねもうまいのかクロツグミも、トビ、アカハラ、カケスなどの声をまねるのが上手だと言われております。

姿はクロツグミと言われるように、黒いツグミです。雄では頭部以下、背、肩羽、上胸は黒色、下背以下上尾筒まで暗石板灰色、胸、腹、脇は白色で灰黒色の小斑が散在し下尾筒は白色、翼と尾は黒褐色、雌の頭部以下体の上面はオリーブ褐色で喉、胸は赤サビ色を帯びた黒色の小斑が散在しております。

巣は、樹枝上に多量の苔を用い根茎、枯枝などを使用し土を保って苔を張りつけ、内部には、細茎、穂、落葉、毛、シュロの毛、松葉、細根などを使用して作り、緑青色の地に赤褐色の斑点のある二七ミリ×二〇ミリ位の卵を三～五個産みます。

餌は昆虫類、ミミズ、ムカデなどを好んで食べ、植物質では、ヤマザクラ、ノブドウ、ヒサカキの実を好食します。

献血は心の贈りもの

ご協力ありがとうございました

次回は 9月3日(土)

午前 役場前
午後 松代高校です

6月25日 献血者名

太字は400mℓ

関谷	和子	**本山**	**絹江**	小島	文彦	相沢	一文
大野	賢郎	数井	憲一	西潟	一浩	斉藤	徳人
高橋	ふくえ	岡田	一行	中村	悦彦	牧田	順子
小堺	悦夫	布施	満男	本山	勝	相沢	容子
斉木	正孝	市川	京子	池田	茂	村松	美恵子
中村	善信	関谷	正義	小堺	喜幸	関谷	直美
市川	栄造	市川	道雄	柳	伸介	武田	京子
山本	**伸夫**	村山	春夫	若月	誠	柳	久美子
室岡	**達弥**	本柳	博昭	柳	一博	志賀	恵美子
斉木	**勉**	山岸	真志	横尾	隆	大日向	泉
堀川	一郎	柳	高浩	柳	裕子	関谷	小百合
若井	利晴	飯干	圭一	村山	多恵子	高橋	久美子
室岡	順一	小堺	英明	米持	麻利	丸山	豊
山岸	**洋一**	斉藤	亮一	佐藤	紀子	山岸	光秀
鈴木	つゆ子	村山	健次	本山	いずみ	若月	浩一
小堺	春男	高橋	秀征	池田	さおり	南雲	由紀
小池	二美代	宮澤	典郎	牧田	いずみ	萬羽	奈緒子
石口	**牧男**	関谷	恵一	柳	恵美子	市川	治美
小島	哲	若井	剛也	鈴木	秀子	若井	こずえ
武田	芳夫	秋山	利宏	山岸	愛	中沢	美幸
柳	秋江	小海	福成	関谷	和佳子	関谷	敏郎
横尾	**善朗**	小堺	春樹	若月	美穂	斉藤	清
池田	美代子	樋口	博之	池田	剛	野上	芳弘
樋口	恵子	品田	伸明	若井	孝広	小野島	聡
関谷	美代子	牧田	剛	高橋	智	富沢	宗
仲村	忠久	仲村	諭	山岸	昭光	吉野	隆一
高橋	常雄	山本	雅明	高橋	武治	藤岡	隆行

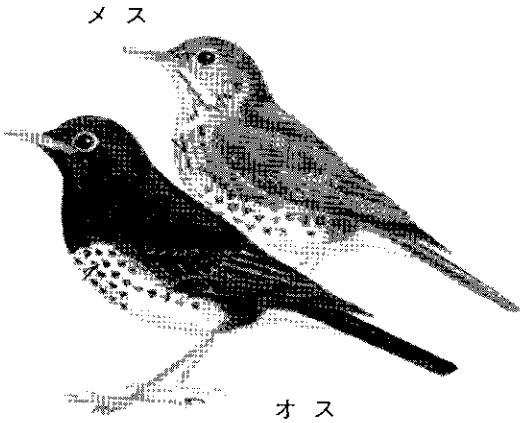
牧田	光男	上村	恵美				
小堺	一男	五十嵐	美奈				
村山	政仁	若井	るみ子				
柳	一則	菅井	良子				
小島	康代	山本	哲也				
樋口	美津代	井上	日登美				
牧田	美智子	柳	久美子				
相沢	直樹	井上	範子				
秋山	訓夫	藤田	健				
柳	志郎	熊木	正人				
若山	淳	菅井	美千代				
田巻	弘成	山本	嘉昭				
関谷	光弘	米持	英雄				
鈴木	奈穂子	近藤	巨				
阿部	和子						
石坂	義正						
柳	容子						
鈴木	洋子						
宮沢	里子						
小海	春美						
秋山	史子						
中村	房代						
菅井	文代						
西潟	陽子						
小湊	知見						
高野	成子						
中沢	和美						

このノブドウは、毒ではありませんが、味は悪く人間は食べず、方言でイシブドウ、イヌブドウ、ウシブドウ、ドクブドウなどといわれているもので春先の若芽、若葉は摘んでおひたしにして食べるというところもあります。人間にとって、まずいものでも彼らにとっては、おいしい果物かも知れません。

クロツグミは、松代町では夏鳥ですが、中には九州で越冬するものもあることがわかっております。この鳥も例にもれず生活史のわからない鳥で、一九六一年から一九八六年までの二十五年間に二三九七羽に標識されたのですが、この間回収されたのは、たったの三羽で、回収率〇・一三％という低さの鳥です。その三例とも、国内だけで外国での回収例はありません。そのうちの一例が一九八五年四月二九日、北海道苫小牧で放鳥した雌の成鳥が六ヵ月後の一〇月二七日、本県の北蒲原郡紫雲寺町で死体で発見拾得されています。また一九七八年の緑の国勢調査によれば本種の分布は一応全国的に分布していることになっていますが分析検討しますと、生息地に偏りが見られます。国勢調査によれば、中部地方から東北北海道に多く、中でも本州中部から関東地方に最も多く分布していることになっていますが、おもしろいことに、開発の進んだ名古屋一帯、富山平野、関東平野等には分布していなく、また関東地方では、標高五〇〇メートル以下の低地には分布していないことがわかっています。ところが日本海側では標高の低いところにも生息し、海岸近くにも生息しています。そのよい例が新潟市、柏崎市の海岸の松林にクロツグミが繁殖し注目されていますがこのような分布のちがいは、何を理由にするのか調査するのもおもしろいと思います。林道田沢下山線で、クロツグミのさえずりを聞くのも楽しいと思います。

最後に、若山牧水の歌でこの頃を終ります。

ひそやかにものいひかくる
啼声のくろつがの声
聞きて飽かなく



夏季火災防止運動

八月一日～八月三十一日

これから夏休み、お盆を迎え帰省客、避暑観光客等で管内の人口が急激に増加するとともに、火気を取扱う機会が多くなり、火災の多発が憂慮されることから、この時期における火災の防止を図るため、本運動を実施するものです。

暑さとともに注意力、思考力、行動等が緩慢になりがちです。火気の取扱いには充分注意し、火災を出さないようにしましょう。

夏休み中の非行防止

夏休み中は、児童・生徒が学校を離れた解放感から、万引き、乗物盗、シンナー遊び、暴走行為等に走りやすい時期です。

家庭で、子供の行動等をしっかりチェックしましょう。

〝夏休み
子供に愛の目
注意の目〟

くらしにやくだつ おしらせひろば

水田農業確立対策（転作）

助成補助金の口座振込みのお知らせ

転作作物に対する助成金が8月10～13日にかけて、農協口座に振込まれます。今回は概算分として受け取る額の半分が振り込まれ、残りは精算分として12月下旬に振り込まれることになります。又青刈稲については、一括12月に振り込まれることになりますのでご了承下さい。

果樹（クルミ等）・杉・桐の苗木の注文について

8月18日以降に注文書を回覧しますので、注文の有無を記入願います。

水田農業確立対策助成補助金（10a当）について

作物区分	助成補助額
（一般作物）大豆・飼料作物・青刈り稲・小豆・薬草	17,000
（特例作物）レンコン・野菜・タバコ・山菜	6,000
（永年作物）果樹・桐・杉・養魚	22,000
保全管理	6,000
土地改良通年施工	8,000

備考：永年作物10aの植栽本数は、栗・クルミ等果樹40本、桐20本、杉・キハダ200本

食中毒に気をつけましょう

食品を調理する際の注意

①食品の調理は「清潔」「迅速」と「加熱又は冷却」の三原則を守りましょう。
②魚介類は十分な水洗を
③調理器具は洗浄、殺菌、乾燥を忘れずに。

調理した食品への注意

①なるべく早く食べましょう。
②仕出し料理を注文する時は、食べる時間をはっきり言って注文することも忘れずに。

老齢福祉年金を受けたら 年金証書の提出を

八月に支払われる老齢福祉年金を受け取ったら、国民年金証書を役場に提出することになっています。

これは、年金を受けている本人やその配偶者などの前年の所得を調査し、引き続き年金を受けられるかどうかを決め、今年の八月から来年七月までの年金額を記入してお返しするものです。

もし、証書の提出が遅れたり提出がなかったときには、年金額の記入に支障をきたし、次回の年金支払いが受けられなくなる場合もありますので、必ず提出してください。

なお、新たに厚生年金や共済年金などを受けるようになったときや、受けている公的年金の額が改定されたときは、その公的年金証書の写しや年金額改定通知書の写しを添えて提出してください。

郵便局でお金を受け取ったら、緑色の年金証書を提出して下さい。
役場

ボイラー取扱い技能講習会開催のご案内

この講習修了証を受けた後、小規模ボイラーに四ヶ月以上の取扱い経験があると、二級ボイラー技士の受験資格を得ることができます。

◎講習会場　期日及び定員

会場名	講習会場	講習期日	定員
新潟	新潟県経営者協会（新潟市川岸町1丁目47　3）	9月6日(火) 7日(水)	50名
長岡	中越婦人会館（長岡市城内町3丁目4－6）	9月13日(火) 14日(水)	50名
上越	上越市社会教育館（上越市西本町4丁目17－5）	9月28日(水) 29日(木)	50名

◎受講料　五五〇〇円（一人）
◎締切期日　定員になり次第
◎資格　満18才以上の男女
◎申込方法
役場職業係に「ボイラー取扱技能講習申込書」がありますので必要事項を記入の上、申込み下さい。

新刊図書のご案内

公民館図書室

◎幼児～小学校低学年向き及読みきかせとして

・はじめて読む絵本（8巻）
・しかけ絵本（10巻）
・おはなしの本（10巻）

◎小学校中高学年向き

・新潟県課題図書（10巻）

◎一般成人向き

・それぞれの終楽章　阿部牧郎
・信玄戦旗　松本清張
・巨食症の明けない夜明け　松本侑子
・雪はよごれていた　澤地久枝
・国際絵画市場　藤井一雄
・クロスロード　桑原一世
・スティルライフ　池澤夏樹
・長男の出家　三浦清宏
・自分実現のすすめ　鈴木健二
・とれたての短歌です　俵万智
・豪雪の村を拓く　須佐昭三
・おお子育て　黒岩秩子
・続おお子育て　黒岩秩子
・女遊び　上野千鶴子
・人は死ねばゴミになる　伊藤栄樹

他多数

☆公民館図書室は総合センターの2階にありますので、お気軽にご利用下さい。

◎成人式のスナップ写真が出来ておりますので注文された方は総合センターまで取りに来て下さい。一枚35円です。

自衛官を募集しています

○募集種目
二等陸・海・空士
○応募資格
十八歳以上
二十五歳未満の方
○受付期間
年間を通じて常時受付

お問い合せは
自衛隊高田募集事務所
☎〇二五五―二三―五一一七
役場総務課
☎七―二二二〇

今月の表紙

松代のプールの脇にあじさい公園ができたのをご存知でしょうか。七百株の苗は緑化宝くじの収益の助成によるもので、町の造林組合の皆さんが組合設立十周年を記念し、奉仕で植えてくれました。

他にも八重桜、つつじ、しばが植えられています。来年の花見の時期が楽しみですね。

この日は一面に咲いたあじさい園に保育園児がやって来ました。大きな声で叫んでいるのが聞こえてきそうです。

地区で活躍している保健衛生推進員さんを紹介します

部落	氏名	屋号	電話番号
松代	高橋　笑	中屋	7 3618
〃	樋口サカエ	和太屋	7－2318
〃	関谷なみ子	とみや	7－3633
〃	市川喜久代	市川表具店	7－2186
小荒戸	山賀佐登子	だいきち	7－2876
太平	柳　小夜子	こびき	7－2993
菅刈	柳　マサノ	はやし	7－2851
田沢	高橋ハル子	万蔵	7－2827
池之畑	山賀千恵子	こうじや	7－3788
下山	宮沢　マキ	なかや	7－3823
千年	高橋　洋子	さじべい	7 2625
池尻	室岡　一恵	大家	7－2574
会沢	五十嵐恵美子	田中	7－3071
清水	佐藤　トシ	かぜん	7－3437
桐山	小山ツタエ	中子	7－3876
蓬平	小堺　令子	きくばたけ	7－3669
東山	山岸　時子	うら	7 3861
海老	若月三千代	とざしき	7－3833
犬伏	柳　幸子	さかもとや	7－2087
孟地	若月テル子	こうじや	7－2449
片桐山	山岸　フミ	うら	7 2155
滝沢	小林　スミ	みやざか	7－2406
中子	斎木　節子	けんぼ	7－2426
宇島	柳　優	きちべい	7－2938
田野倉	池田　京子	すぎはら	7－3342
仙納	室岡　和代	宮ノ脇	7－3017
莇平	高橋芙美子	ぬげ	7－3038
寺田	井上　トシ	中屋	7－3248
名平	菅井　ツタ	入り	7－3272
蒲生	山岸あい子	つる屋商店	7 2720
〃	小林美奈子	よぜん	7－3348
儀明	中村　洋子	大西	7－3402
〃	小堺ヤイ子	上州	7－3189
福島	西潟都伊子	かみ	8－2062
奈良立	柳　スイ	あたしゃ	8－2724
室野	佐藤　幸子	よそうじ	8－2656
〃	関谷　美子	ともぜん	8－2633
〃	斎木　澄江	しんまち	8－2130
竹所	中條　春子	いえのした	8－2541
峠	牧田　トメ	たむらや	8－2523
木和田原	石野あい子	谷	8－2027

4月に実施した「かくたん検査」で異常のない方には通知していません。
ご了承下さい。　社会課衛生係

停電のお知らせ

8月10日(水)　儀明の全部
午前9時30分から正午まで

9月2日(金)　田沢・菅刈の全部
午後1時から午後4時まで

警察官募集

県警では、郷土の治安を守る、若さと情熱のある警察官を募集しています。

一、受験資格
採用時二十八歳未満で高等学校卒業程度の学力を有する男子。（大学卒又は卒業見込みの人は除く）

二、受付締切
九月八日(木)まで

三、第一次試験
九月二十五日(日)

四、採用予定年月
昭和六十四年四月

※詳しくは、安塚警察署又は最寄りの派出所・駐在所へお問合せ下さい。

青春にチャレンジ

県立高等職業訓練高訓練生募集

一、普通課程（二類）

①対　象
高卒又は同等以上の学力を有すると認められる人。（64年3月卒業予定者含）

②募集受付期間
昭和六十三年九月一日(木)から十月五日(水)まで

③選考日時
昭和六十三年十月二十日(木)午前九時より

二、普通過程（一類）及び専修訓練過程

①対　象
義務教育を終了した人。（64年3月卒業予定者含）

②募集受付期間
昭和六十三年十月十一日(木)から十一月五日(土)まで

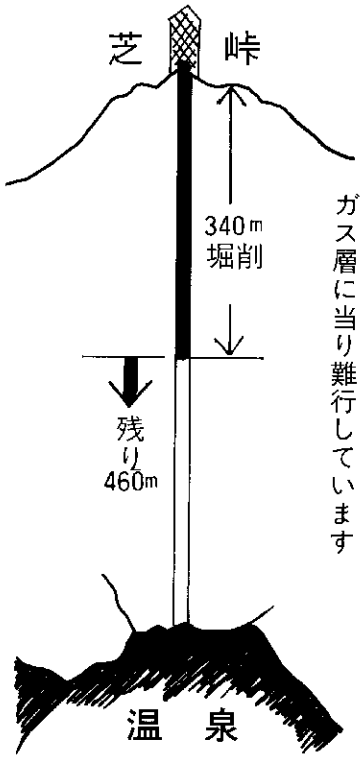
③選考日時
昭和六十三年十一月二十四日(木)、午前九時より

※詳しくは、十日町高等職業訓練校（0257～57～1105）へお問合せ下さい。

郡内の交通事故発生状況（7.20現在）

松代町での事故の形態	傷者	死亡	件数	町村
	8		7	安塚町
車対人	6	1	6	浦川原村
車対バイク	11		9	松代町
車対自転車	10	1	5	松之山町
車対車	3		3	大島村
3 1 2 1 2	1		1	牧村
9	39	3	31	計

芝峠温泉掘削状況（七月末日）



ガス層に当り難行しています

交通事故のご相談はお気軽にどうぞ無料でご相談に応じております

午前九時半～午後四時四十分（平日）
土曜日は正午まで（第二・第三土曜日は休みます）
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎週水曜日午後一時～四時

新潟自動車保険請求相談センター
社団法人
日本損害保険協会

メーリング広場

「おらがふるさとまつだい」

柳　正春

松代では、今、至る所で盛んに、道路改良工事が行なわれて、どんどん、道が良くなり、冬場の足も何の障害もなくなりつつある。また、二、三年後の北越北線の開通、温泉の採掘など、今、町がどんどん変わりつつある。

イベント面を見ても、今まで、夏の観音祭が町唯一のイベントであったが、今年からは、冬のイベントとして「越後松代冬の陣」という雪を利用した祭りが、盛大に開催された。今年が、一回目という事で、このイベントを企画運営された方は、大変な苦労があったと思うが、しかし、第一回ということで、町内だけの内輪だけの祭りに終わってしまったような気がする。隣町の安塚町では、後楽園での「スノーフェスティバル」で安塚町の名を、全国に広める事が出来た。雪を利用する事で、安塚町に出来て松代町に出来ないことはない。（雪の量ではどこにも負けない）と思うので、二回目、三回目とどんどん大きな祭りに発展していってほしい。いや、ほしいではなく、我々が、これからやっていかなければならないことだ。と言っても、とかく自己主美的な我々は、見る側に回りがちだが、もっと、積極的に手を出し、足をつっこんで、どっぷりと松代の色に染まり、大いに、参加していこうではないか。

過疎化が進み、高齢化の波が、おしよせつつあるこの町に、ここ、二・三年は、二十代の人口が逆に増えてきているような気がする。この年代の人たちが、Uターンして来ることが、過疎化防止につながると思う。その為には、同じ年代で同じ考えをもつ我々がアイディアを出しあい、意見しあい、もっと、町に興味をもち、新しい町づくりをしていかなければならないのではないだろうか。

我々は、これからの町を、背負っていく、主役たちなのだから。

戸籍の窓口

（6月21日～7月20日受付）

幸せ多い人生を（婚姻）

中條栄一・モラレス・エドウィーナさん（竹所・石原）

中沢昇平・デ、ロレト・ミネルバさん（木和田原・平田）

市川栄太郎・ラグド・スーサンさん（松代・こびき）

秋山正行・アルホーナ・ジーニーさん（清水・清八）

牧田信二・ヴィリヤダー・ルーデスさん（峠・福田屋）

柳　浅夫・ヴィヤヌエバ・フエさん（松代・あめや）

若井君男・モンテーナ・エデイタさん（蓬平・松兵ェ）

小堺隆至・モラレス・マリテスさん（蒲生・細川）

高橋元男・ダナオ・メルセデスさん（菅刈・新宅）

高橋喜一・エスタシオ・セシリアさん（莇平・姫喜屋）

寺崎松太郎・李　禧淑さん（桐山・向林）

げんきなよい子に（出生）

柳　鮎美ちゃん　信夫・千秋さん（長女　千年・信宅）

小堺貴也たかなりちゃん　博道・光枝さん（長男　儀明・どて）

関谷亮太りょうたちゃん　正利・美江子さん（2男・松代・松坂屋）

櫻澤　愛ちゃん　正一・京子さん（2女・松代・釜田住宅）

ご冥福（死亡）

山岸　コマさん　82歳（松代・寺田屋）

池田　勇一さん　44歳（田野倉・二枚田）

村山　ミツさん　79歳（室野・山喜屋）

室岡　サツさん　60歳（仙納・上親家）

米持　春行さん　86歳（室野・田の島屋）

文芸

歌の屑籠

下山　埋れ木

両肩より血を流しつつ奋かつぎ美田開きしみ祖を思う

子に食わし足らずば親はひもじかりし昔思えば涙滲むも

流転と云う言葉は丸く響けども八十の齢に思い切々

拙き歌、歌屑籠に溢るまで摘みさまよわむ秋野巡りて

しぶみ句会

朝露に蜘蛛の巣濡れて光りを　八千代

り　雨受けていよよ葵は咲き登る　紅茶

夏雲の湧いて鶏足山かげる　公明

晴れ間見て夏草を刈る鎌をとぐ　一元

夏山が好きでこの地に六十年　世香

花菖蒲二三本雑草の中にあり　美根

除草機の音も軽やか稲の出来　去水

夏草の覆いかむさる石佛　淡水

山の湯にキンノキツイタチ同級会　枯水

草茂る墓石の苔の深みどり　六花

蒲生句会　親不知吟行句会

大岩が大暑の浪を抱き返す　月日

湖騒の間合いを縫いてカジカ鳴く　鐵堂

蛍ぶくろ真下逆巻く波がしら　耕山

灼くる石積みて磯辺に誰悼む　龍峰

＊　＊

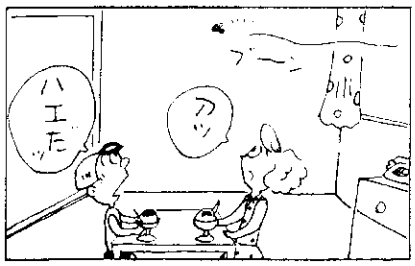
星こぼれ淡き蛍灯二ツ三ツ　耕人

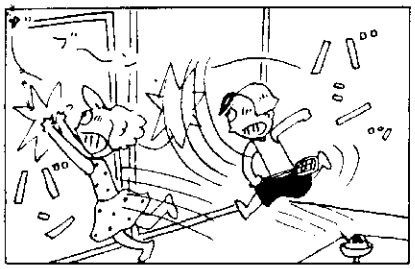
薬草の乾ききったる昼寝刻　ふさ女

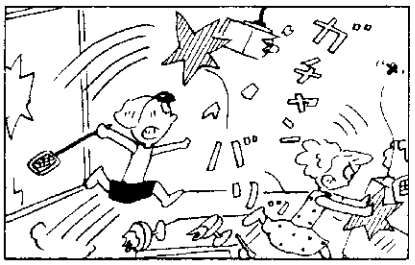
防除機がフル回転の青田かな　折人

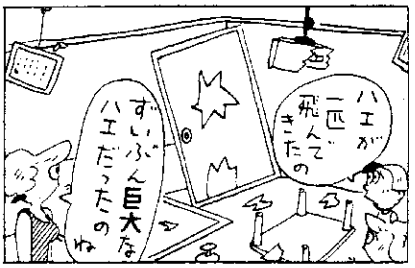
さわやか君

西村　宗









野に咲く花　ヌマトラノオ（サクラ草科）

湿地や流れのほとりに群をなして生える。

茎は円柱形でほとんど枝分れしない。高さ四〇cmから七〇cm位で茎の基部が、赤色している。葉は茎にそってたがいちがいにつき、短い柄があって、長さ四cm～七cm。葉の先は急にせばまってとがり、ふちにはぎざぎざがない。

夏、茎の頂きに、多数の小さな白色の花を穂のようにぎっしりとつける。

トラノオは虎の尾の意味で、花のようすが、虎の尾に似ているからである。

似た仲間で日あたりのよい野原に咲くものはオカトラノオです。

詰将棋

出題　八段　北村昌男

●ヒント…広い所に出しては、つかまりません。

6分で2級、3分で初段。

持駒　銀

	1	2	3	4	5	6
一						
二	と			飛	飛	
三			王		歩	
四	金	歩	歩	歩		
五						
六						
七						
八						
九		角				

〈詰将棋解答〉２二銀、２三王、４三銀成、同角、３二銀成、同王、２二飛成まで７手詰め。

〈解説〉２二銀、２三王とかつた局面は、いま打つた銀がなければ２二飛成の詰み。そこで銀を消そうとして２銀成では、同金と取られたあと、１四王と脱出されてしまいます。